

## こども園における自己評価結果報告

こども園における自己評価の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。  
自己評価の結果を踏まえ、今後の教育・保育の質の向上並びにこども園運営の資質向上に努めて参ります。

A: たいへんよい  
B: よい  
C: 一部検討を要する  
D: 改善を要する

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
教育・保育理念	(1) 理念や基本方針が職員に周知されているか		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で保護者が玄関出入りできないため、外からでも見やすいように玄関扉に園だより・食事だより・3つのゼンの目標・お知らせ等を掲示している。今年度は子どもたちの作品などを玄関先に展示している。</li> <li>・理念・基本方針については、毎月の園だより・ホームページに載せて周知を図っている。今年度の保護者アンケートでは、約3割の方が知っていると回答されていることからほぼ周知されていると思う。</li> <li>・3つのゼンについては来年度に向けてさらに意識した教育・保育を心がけクラス通達にも3つのゼンを織り込んで、さらに保護者へアピールしていきたい。</li> </ul>
	(2) 理念や基本方針が利用者に周知されているか	○				
	(3) 理念や基本方針に基づいた教育保育が行なわれているか		○			
	(4) 一人一人の子どもの人格を尊重した教育保育について共通の理解をもっているか		○			
教育保育の計画	(1) 社会状況や子どもの実態、地域性などを考慮し、必要に応じて教育保育課程の見直しを行っているか		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育・保育目標に基づき全体的な計画、指導計画を作成し入園から修了までの発達と学びの連続性を踏まえて教育・保育を展開している。行事についてはコロナ禍ということで、人数・時間など様々な制限がある中で、昨年の行事の取り組みを見直し、反省点を活かしその時にできる最大限の方法で行ってきた。</li> <li>・行事の内容については、子ども主体の活動を心がけ、子どもの興味・関心のあることや「やりたいこと」を子どもたちと話し合ったり担任間で話し合ったりして取り組んできた。</li> </ul>
	(2) 指導計画は、乳幼児の心身の発達を踏まえ、入園から修了までの長期的な視野を持って充実した生活が展開できるように配慮し作成されているか		○			
	(3) 子どもの生活が豊かになるよう行事を精選し、子どもの発達を踏まえて、その内容や実施の仕方について見直しを行っているか	○				
子どもの発達援助	(1) 子ども一人一人の健康状態や発達の状態を把握し、職員間にて共有されているか	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児の健康状態は担任・看護師間で細かく把握し朝礼・終礼・職員会で全職員が共有できるよう努めている。</li> <li>・昨年に引き続き外部より講師を招きドキュメンテーションをもとにカンファレンスを受けた。2年目に入り、ドキュメンテーションを通して互いに勉強しあい、実際に行事等で主体的に取り組む子どもたちの姿を見ることで刺激となり、少しずつ主体的な活動に対する共通認識ができていく。今後も遊びが継続し展開していけるような子どもの興味・関心・探求心に寄り添い環境の工夫を行っていく。</li> <li>・コロナ禍のため季節ごとのパーティーはできなかったが、その代わりに毎月1回パーティーメニューとして趣向を凝らしたランチを提供している。子供たちは毎月ランチの日を楽しみにしている。</li> <li>・今年度はお味見当番を実施している。そのことにより味に興味を持ちその日の給食に使われている調味料や食材を絵で描いたり食材について給食担当者に聞いたりしている。</li> <li>・遊びの中に「学び」があることを踏まえ、興味・関心を尊重し「やりたい」遊びを存分にできるように段ボールやいろいろな廃材を準備して自由に使えるようにすることで子どもの制作意欲を高めている。また場所と時間を確保することで存分に楽しむ様子が見られる。</li> </ul>
	(2) 子どもが安定感をもって過ごし、自分の気持ちを安心して表すことができるよう留意しているか		○			
	(3) 子どもに相応しい食生活が展開されるように、食事について見直しや改善を行っているか	○				
	(4) 子どもが食事を楽しむことができる工夫をしているか		○			
	(5) 子どもが主体的に活動できるような、人的・物的環境が整備されているか		○			
	(6) 子ども一人一人を受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われているか		○			
	(7) 健康安全や発達の確保を十分に図り、日々の環境を整えているか		○			
	(8) 子どもが自ら周囲の様々な環境と関わり、発達に必要な体験を積み重ねていけるよう努めているか		○			

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
	(9)子ども自身が自分を肯定する気持ちを育まれていくよう、継続的な信頼関係が築かれているか		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者アンケートにもあったが、マーガリンの使用を減らし、バターに切り替えるなど子どもにふさわしい食生活となるよう見直しや改善を行っている。</li> <li>・支援を必要とする園児に対しては、専門機関と連携を取りながら園児が安心して過ごせるように加配の保育教諭を配置し、環境の工夫や配慮を行っている。</li> <li>支援を必要とする子どもの情報を職員会や終礼等で、全職員で共有している。</li> </ul>
	(10)保護者の生活形態を反映した子どもの在園時間の長短、入園時期や登園日数の違いを踏まえ、子ども一人一人の状況に応じた工夫が行われているか		○			
	(11)障がいのある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、教育保育の内容や方法に配慮されているか		○			
	(12)小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、教育保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されているか		○			
保護者に対する支援	(1)子どもの発達や教育保育などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けているか			○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で地域の子育て家庭に対して交流の場を提供できなかったが、情報誌を発行したり、電話やメールでの相談ができるよう環境を整えた。次年度は園庭開放などコロナ禍の中でできる取り組みをしていく。</li> <li>・懇談会については保護者が園内に入れない状況だったので実施できなかったが、年長児については希望者のみの個人懇談を行った。日頃から保護者とのコミュニケーションがとりにくい状況だったので、担任にとっても保護者にとってもよい機会となった。次年度はコロナの状況を見ながら他のクラスも希望者のみ少人数での懇談会について検討していく。</li> </ul>
	(2)虐待に対応できる園内の体制(医療機関、児童相談所など専門機関との連携)の下、不適切な療育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び予防に努めているか		○			
	(3)地域の子育ての拠点として「こども園の開放」「相談・援助」「交流の場の提供」「情報の提供」の支援を行うよう努めているか		○			
教育保育を支える組織的基盤	(1)感染症やその他の疾病の発生予防に努め、看護師の専門性を活かした対応を図っているか	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症予防のための室内の消毒・子どもたちや保育教諭に向けての保健指導・コロナ関連の感染予防策を看護師を中心に園全体で取り組んでいる。</li> <li>・アレルギー疾患児については担任と保護者間で「アレルギー個別対応表」をやり取りし看護師・調理室とも連携を取りながら誤食のないよう細心の注意を払っている。</li> <li>・毎月1回避難訓練を実施している。今年度は、火災・地震・水害・不審者対応のほかにJアラート全国一斉試験の日にはミサイルを想定しての訓練を実施した。避難の方法・避難経路を選択し瞬時の緊急対応を訓練している。今年度は給食担当者は訓練には参加していなかったが、緊急時はどうしたらいいかわからないという意見もあった。次年度は、給食担当者も交えた訓練も行っていく。</li> <li>・施設長自ら主体的活動についての勉強をしつつ保育教諭が教育・保育について悩んだり困っているとき助言したり励ましたりして質の向上に努めている。</li> <li>・年に3回自己評価をし、その都度園内研修等で話し合うことで自己を振り返り、教育・保育の質の向上につなげている。また保護者アンケートの結果を全職員で共有することで、園の課題を明確にし今後の取り組みに活かしていく。</li> </ul> <p>今後も職員一丸となって教育・保育の質の向上に努めていきます。</p>
	(2)体調不良、アレルギー疾患等をもつ子どもに対し、適切な対応が行われているか		○			
	(3)避難訓練・安全点検・不審者侵入防止訓練等、子どもの安全確保のための適切な対応が行われているか		○			
	(4)地震などの自然災害に対する防災対策は行われているか		○			
	(5)施設長がリーダーシップを発揮し、職員が教育保育の内容の充実と質の向上を図れるよう努めているか		○			
	(6)研修等、教育保育の質の向上を図るべく、自己研鑽への取り組みを積極的にやっているか		○			
	(7)事業計画が職員に周知されているか		○			
	(8)事業計画が利用者に周知されているか		○			
	(9)守秘義務の遵守が全職員に周知され、守られているか		○			
	(10)個人情報適切に取り扱いつともに、保護者の苦情に対し、早期解決を図るよう努めているか		○			
	(11)苦情解決の仕組みが確立され、保護者等に十分に周知・機能しているか		○			
	(12)保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備しているか		○			
	(13)保育教諭等が主体的に自己評価に取り組み、教育保育の改善が図られているか	○				
	(14)評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施しているか		○			

月津こども園の評価結果に対する意見・コメント


・オンライン帳面に移行するときは保護者の方に相談(?)されてからしたのではありませんか? 手書きの帳面が良かったのと書いて頂いたの声が園から来たのではないのでしょうか

・避難訓練火災の原因が給食室という設定とかの場合給食の先生方はどうしていいですか? まずは消火器を持って消火してほしいですね。必ず荷かししょう。

・発表会の時保護者にはわかりやすく以前の教育と今の教育の違いをわかりやすく話されていて園もよかったです。

令和 4 年 3 月 17 日

役職等 監事

氏名 飯沼清美 

# 月津こども

園の評価結果に対する意見・コメント

- ① 玄関扉に、園たより等掲示し、前年度より工夫、実施がみられています。
- ② 年長児は、個人懇談は希望者のみで行なつたとのこと、できればクラス全員行なつてほしいと望みます。保護者の言葉使い、話の間、内容等で家庭や親子関係がみられると思います。
- ③ 次年度、希望者のみの懇談会は、できれば希望者だけになく、行なつてほしいです。希望者だけでは、園側の開催したという満足感だけが、終わるのではなにかと感じます。
- ④ 運動会、発表会と、行事の時、園長は少し動まっておなのかなと感じました。職員に任せて、全体をみるようにしてみればどうでしょう。
- ⑤ 昨年の行事の取り組みから、見直した点、反省点として出たこと、また、どのような見直しを行なつてきたのか具体的に伺いたいです。
- ⑥ 体調不良児、アレルギー児への対応が昨年の評価から下がっているから、何か改善をお願いします。問題等があったのかどうなのか。
- ⑦ 給食の方は、コロナ禍の中で、子ども達をおもて立てられていること、うかがえます。
- ⑧ 子ども主体の活動について具体的に伺いたいです。

令和 4 年 3 月 9 日

大和善隣館  
役職等 監事

氏名 堅田 光恵



月津 こども 園の評価結果に対する意見・コメント

コロナ禍 ということでは、行事に関する

さまざま制限、体調面での規則、

送迎時の対応で、保護者からのご意見

がありました。こども園としては最大限

の対応をしていると思います。

情報発信もICT化がすすめられて

おり、すばらしいと思います。

令和 4 年 3 月 10 日

役職等

監事

氏名

森 和美

印

令和3年度保護者会長 神田 康宏

コロナ禍で園内を保護者が出入りできないこともあり、保育参加の機会が得られなかったり、以前のように送り迎えもお部屋まで行くことがなく、子ども同士のやりとりや保育の様子を直接見るができない中で、連絡帳アプリを通じて、ほぼ毎日保育の様子が書かれており、園での様子について知ることができた。また子ども達とのやりとりが丁寧に書かれたクラス通信でも、先生方が子ども達とどんな風に向き合っているのか具体的に知ることができた。その中でも、夏祭りや運動会、生活発表会において、子どもの興味・関心があること、やりたいことを引き出し、どうしたらうまくいくかを子ども達と話し合ったり助言したりしている先生方の子どもたちとの関わり方がとてもよかったと思う。

行事について、コロナ禍の様々な制限がある中で感染防止に努めながら工夫され、子ども主体の活動になっていて、子ども達もとても楽しんで取り組んでいるので良かった。新型コロナウイルスがまん延している中で、クラスターが発生することなく、休園することなく、安心して子どもを預けることができたのは園全体で感染予防に取り組まれていたおかげで、とても感謝している。